

安全への心構えを新たに ~ ボランティアの方々のご意見から ~

12 月末、地域安全ボランティア（見守り隊、おさんぽ隊）の皆様方にアンケートをお願いしたところ、31 名の方々から回答が寄せられました。夏の暑い日、冬の寒い日と、見守りをしていただき、心より感謝です。下記のようなうれしいご意見もいただきました。

朝、子どもたちのあいさつを受け、元気をもらっています。あの声を聞くと、寒い朝ですが出ていく気持ちになります。

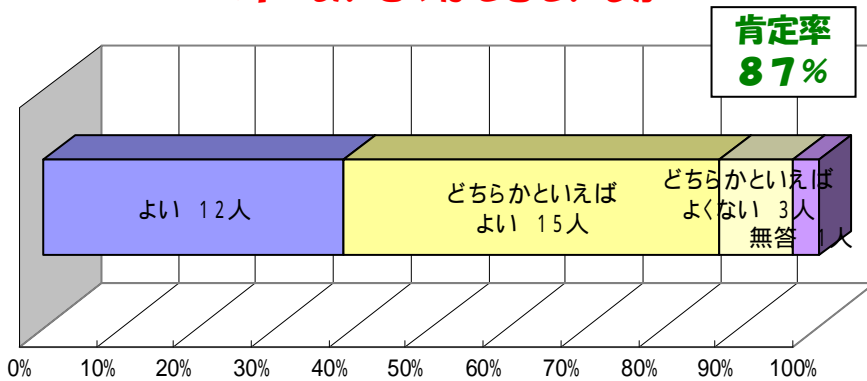
ご近所の人からも、あいさつがよくできているとおほめの言葉をいただき、そのことを孫にも伝えました。学校での日ごろのご指導の結果だと思えます。

各質問項目について「よい」「どちらかといえばよい」「どちらかといえばよくない」「よくない」の4段階で評価していただきました。「よい」がもっと増えることを願っています。

なお、グラフ右上の肯定率は「よい」と「どちらかといえばよい」のパーセントです。

1 ボランティアの方に「あいさつ」はできていますか

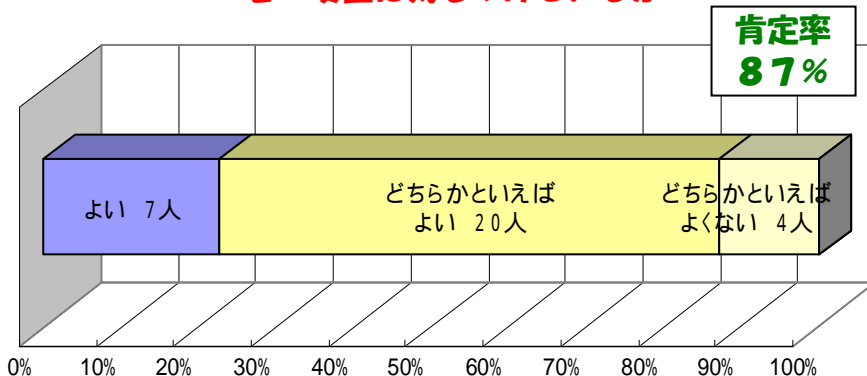
Q1 あいさつはできているか



どの子ども「明るく」「いつも」「先に」「続けて」あいさつができれば、屋代の町に活気があふれます。子どもたちのあいさつが町の気持ちよい朝のスタート合図となるよう、家庭でもあいさつの習慣化を。

2 交通安全を含めて、「安全」に気をつけているようですか

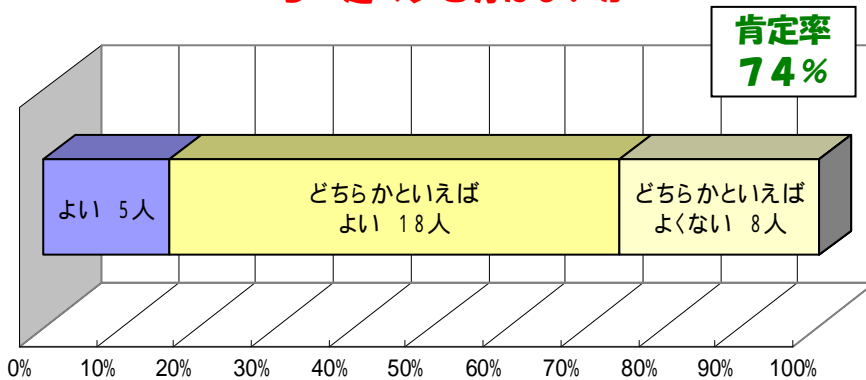
Q2 安全に気をつけているか



登校時に比べて下校時の方が、集団登校に比べて自由登校の方が、気持ちの緩みがあり、危険な様子が見られます。大切な自分の命を自分で守れるよう、安全意識が高まる声かけを繰り返し行いましょう。

3 「道の歩き方」についてどうお感じですか

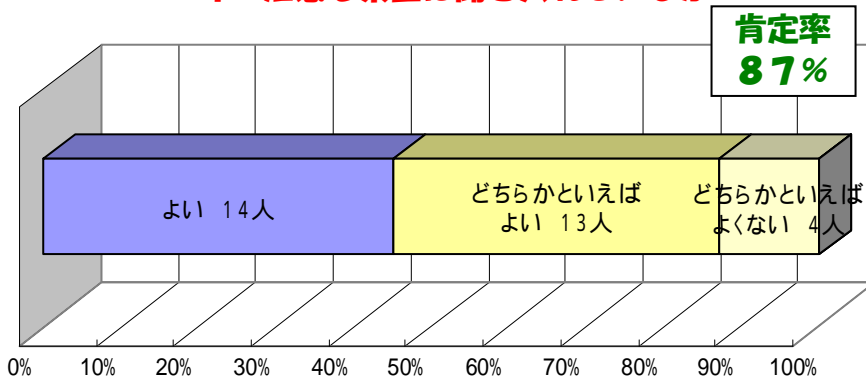
Q3 道の歩き方はよいか



縁石の上を歩く、ポケットに手を入れて歩く、道いっばいに広がって歩く、ふざけながら歩く等、危険な歩行をご指摘いただきました。交通ルールを守り、「余裕をもって登校」「暗くなる前に帰宅」を。

4 注意されたことを、子どもたちは素直に受け入れているとお感じですか

Q4 注意を素直に聞き入れているか



素直に人の言うことを聞く子は、学校での授業もしっかりと聞く子になります。家庭でも、じっくりと時間をかけて話をする中で、失敗を反省し、改めていくことができる子に育てていきましょう。

◆ こんな大切なご意見もいただきました！ 指導にいかしていきます

集団登校になると、いつもは遅い子でも、登校班で行く姿が見られます。また、班長、副班長も、先頭と後ろを守っていてとてもよいと思います。

子どもさんの名前、学年、組等、少しずつ覚えてはいるが、名札を付けていないので、こちらから話しかけて、名前等だんだんに覚えています。

今は通学途中、今は勉強のとき、今は休み時間と、区切りある考え方をしたい。だらだら動かず、集中して活動できる子どもたちに育ててほしいです。

自転車でスピードを出しすぎている子をよく見かけます。

みんな心を込めて咲かせているプランタの花の首をちぎられており、やりきれなく思いました。道端にプランタを置いている人たちの悩みは、きっと同じだと思います。



子どもたちを温かく見守っていただく中で、心配をおかけしたり、成長を喜んでいただいたりしている地域の方々がおられることを忘れてはいけません。安全・安心な屋代の町の中で、三学期も交通事故に遭わないよう、気をつけて通学してください。

地域安全ボランティアの皆様方のご協力に感謝するとともに、今後とも地域における見守り活動にご支援をいただきますよう、何卒よろしく願いいたします。